

鈴鹿医療科学大学同窓会会報

SUMS ALUMNI

vol. **19**
2018.10.01



二〇一七年度同窓会

ホームカミングパーティー

開催報告

碧鈴祭期間中の二〇一七年度十一月十一日(土)、恒例の「ホームカミングパーティー」を開催しました。爽やかな秋空の下、卒業生とご家族、大学教職員の皆さん合計七十六名(過去最大人数)にご来場いただきました。パーティーでは、毎年恒例のビンゴ大会、参加者全員参加イベントのワナゲ大会と盛況の中、卒業生やご家族様どうしの交流を深めることができました。

今年はお子様連れの参加者様が例年以上に多く、アットホームな雰囲気の中で、二十七年の歴史を感じるパーティーになりました。

また、今年にはホームカミングパーティーに先立ち、放射線技術科学科支部同窓会と共催で「在学生・在学生キャリア支援のための卒業生講演会」を開催しました。卒業生講演会には在学生卒業生他合計九十名にご参加いただきました。講演会終了後は、在学生が卒業生と交流する姿が会場内でみられました。今年も碧鈴祭初日に、「ホームカミングパーティー」卒業生講演会「放射線支部キャリアアップセ

ミナー(仮題)等、卒業生講演会やキャリア支援セミナーを企画します。二〇一九年度以降も他学科同窓会支部と協力し卒業生交流企画を進めてまいります。

卒業以来お帰りいただいていた卒業生の皆様にも、一度は母校に足を運び、旧友や恩師との再会、母校の今の雰囲気を楽しみ、卒業生や在学生との交流を深めていただきたいと思います。

皆さんのお越しを心よりお待ちしております。



2018年度同窓会ホームカミングパーティのお知らせ

今年も、恒例となりましたホームカミングパーティを開催します。好評の「ビンゴ大会」やご家族皆様に参加いただける「輪投げ大会」などを行います。その他、お子様向けくじ、最新トレンド体験コーナーなど楽しめる企画をご用意して皆様をお待ちしています。

今年卒業された皆さん数ヶ月ぶりの大学に遊びに来ませんか? また、卒業後5年、10年との節目となる皆さん、久しぶりに大学祭に来てみませんか? 皆様、お誘いあわせの上、ぜひお越しください!

日時 2018年11月10日(土) 13:30~15:00
場所 鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス B 講義棟ラウンジ

会費
無料

本会では、卒業生涯教育事業の一環として以下の活動に対する助成を開始しました(平成三十年十月日以降に開催される対象活動に適用)。

クラス会等開催に対する助成

申請条件

- ・ 次の卒業生の集まり。
 - ① 学年、学部、専修・専攻
 - ・ 学科が同じ卒業生の集まり(クラス会など)
 - ② 出身地または現住所の地区が同じ卒業生の集まり(地区会など)
 - ③ 複数の卒業時期で同じゼミの卒業生の集まり(ゼミ会など)
 - ④ 在学時に同じサークル・同好会の卒業生の集まり(サークルOB・OG会)
 - ⑤ 現在の業種が同じまたは勤務地が同じ卒業生の集まり
- ・ 一団体につき年一回
- ・ 十名以上の参加があること
- ・ (ただし、同窓会支部活動補助との重複申請はできません)

申請者

本会正会員
(会費が完納されていること)

申請方法

- ・ 申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。
- ・ 送付先
e-mail: mail@sums-aa.com
- ① 助成金申請用紙
(別紙1 同窓会HPからダウンロードできます。)
- ② 同窓会の案内状
(メール画面、ハガキのコピーなど)

申請書類

- ③ 同窓会報告用紙
(別紙2 同窓会HPからダウンロードできます。)
- ④ 同窓会の出席者名簿
(学生番号・氏名・住所*1)
- ⑤ 出席者の集合写真
(人数が確認できるもの)
- *1: 会報郵送用連絡先として登録されます。

助成額

出席者一名につき一、〇〇〇円。上限は二万円。人数は報告書に添付していただく集合写真で確認するため、必ず出席者全員がそろっている写真を提出してください(写真は会報に掲載されます。なお写真は返却できません)。

付記

- ・ 助成金の申請限度は一年度内に一回とします。
- ・ 申請は同窓会が行われてから六ヶ月以内に申請してください。期限を過ぎた場合、申請しても受付できません。
- ・ 同窓会助成は先着順とし、年額予算内で助成を行うため、申請合計金額が年額予算の上限に達した場合、当該年度の助成を打ち切りります。
- ・ 次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。
 - ① 申請書類に不備がある場合
 - ② 不正な申請があった場合

支部報告

放射線技術科学科 同窓会からのお知らせ

卒業生による キャリアデザイン講演会 ～2017 碧鈴祭～ 開催報告

放射線技術科学科同窓会講演会幹事代表
一期生 武藤 裕衣



ヤノンメディカルシステムズ株式会社から、企業に勤務されるきっかけや業務内容を大変面白くお話いただいた後、「医療関係者はみんな、人のしあわせのために働くプロフェッショナルである」との熱いメッセージを贈っていただきました。

終了後の参加者アンケートでは、「感謝の気持ちを行動に示す。私も積極的に、ありがとうを言おうと思った」「赤十字病院ならではの社会貢献活動に興味を持った」「ピンチはチャンス！私もそう思っていこうと思う」「大学病院で自分も勤務してみたい」「医療機器メーカーに就職したいと思った」「はじめて自分も海外に行ってみたいと思った」など、多数の感想をいただきました。大変お忙しい中、

講演をお引き受けいただいた講師の皆様、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。参加者アンケートから、今後も卒業生講演会を継続していただきたいとの感想を得られ、今回の講演会は在学生にとって大変有意義な機会となったようでした。

今後も、放射線技術科学科支部同窓会では、同窓会本部と連携協力し、以下のとおり今年も、碧鈴祭期間中に卒業生講演会を二つ開催いたします。またこの他にも、各種セミナーや交流会を企画し、在学生支援と卒業生皆さんのキャリアを支援してまいります。ぜひご参加・ご支援の程賜りますよう、よろしくお願いいたします。

二〇一七年十一月十一日(土)、碧鈴祭期間中に五名の卒業生の方にお越しいただき在学生・一般向けの卒業生講演会を開催しました。当日は在学生を中心に、卒業生やご家族合わせて九十名と大変多くの皆さんにご参加いただきました。講演会終了後は、在学生が卒業生に直接質問し、交流する姿が会場内でみられました。以下、講演内容をごく簡単にご紹介します。

二十二期生の林 藍花さん(市立四日市病院)からは在学生向けに大学生活や社会人生活を過ごす上で大切なヒントとなる三つのことをお話していただきました。十八期生の土田 絃子さん(高松赤十字病院)

には、「赤十字病院の女性技師として」と題して、技師としての日常業務、女性技師としての乳腺領域業務、赤十字病院の技師として災害派遣業務について分かりやすくお話いただきました。十四期生の長谷川 光太郎さん(一宮市立市民病院)は、入職初期から、五年目、十年目のキャリアを振り返り、それぞれの頃の環境やご自身の行動と気持ちをお話いただき、考え方に影響を与えた要因についてお話いただきました。十一期生の信夫章宏さん(山形大学医学部附属病院)は、ご自身のキャリアと大学病院での業務内容について丁寧に在学生に教えていただきました。最後に二期生の山下 裕市さん(キ

科動

平成三十年度「臨床実習学生報告会」を開催しました

臨床実習担当 武藤・松浦・中舎

昨年度に引き続き今年も、平成三十年八月七日に「臨床実習 学生報告会」を開催しました。

今年も北海道から沖縄まで、全国七十五施設で臨床実習を実施することができました。四年生一四名が三年生を前に、指定されたテーマについて、三ヶ月間の取り組みをアピールしてまいりました。臨床実習アンケート結果や報告会の要旨集については、臨床実習をご指導いただいた

施設の技師長様宛てに郵送させていただきますいております。よろしければぜひご覧ください。来年度以降も、学生報告会の取り組みを継続してまいります。今後とも、ぜひ卒業生みなさまのご指導をよろしく願っています。在学生が卒業生皆様の施設に見学に向うこともあると思います。どうかその節はよろしくお願いたします。

卒業生によるキャリアデザイン講演会

今回は、卒業後3年以内～30代の卒業生にご講演いただきます。就職活動の経験談や転職活動に関する情報、健診センターでの業務や自身のキャリアについてなどを、碧鈴祭のにぎやかな雰囲気の中で、ざっくばらんにお話していただきます。

本講演会は、主に放射線技術科学科の在学生向けの企画ですが、全学科卒業生の皆様にもご参加いただけます。講演会の後は、引き続きホームカミングパーティが開催されます。

皆様におかれましては、お誘いあわせの上、ぜひご出席いただき、お互いの再会を喜び、親睦を深め、懐かしいひとときを楽しんでいただきたいと思います。

日時：2018年11月10日（土）
11：00～12：30（開場10：40）

場所：千代崎キャンパスB棟 3513教室

講師：20代～30代の三重県内外で勤務する放射線技術科学科卒業生数名

参加対象：本学卒業生およびご家族の方。
放射線技術科学科在学生。

参加費：無料（お茶・軽食有り。先着100名）

・卒業生は事前申し込み無しでもご参加いただけます。また、以下のgoogle form (<https://goo.gl/forms/jclAzDxyetCWWxBJ2>) から参加申し込みいただくと、先着申し込みとしてお茶・軽食を確実にご用意できます。



「放射線技術セミナー（基礎編）」 開催のお知らせ

今回、同窓会ホームカミングにあわせ、放射線技術科学科第2期卒業生企画「放射線技術セミナー（基礎編）」を放射線技術科学科支部同窓会主催で開催することとなりました。

本企画は、「診療放射線技師の卵」である放射線技術科学科在学生の皆さんをはじめ、「新しい業務担当が決まってこれから勉強を始めよう」という方、日頃診療放射線技師として業務しているけれど「最近特定の業務以外は担当してなくて…」という方などにお勧めの内容を企画しています。

ホームカミングパーティの後、久しぶりに再会した友人たちとともに、堅苦しくなく気楽にご参加いただければと思います。

日時：2018年11月10日（土）15：00～16：30

場所：千代崎キャンパスB棟3513教室

参加費：無料

参加対象：本学卒業生およびご家族の方。
放射線技術科学科在学生。

※同日、同窓会企画としてキャリアデザイン講演会、ホームカミングパーティも開催されます。また、第28回碧鈴祭も開催中ですので合わせてのご参加をお待ちしています！

支部報告

医療栄養学科同窓会

からのお知らせ

医療栄養学科を卒業したOG・OBの 活躍をお知らせします!!

管理栄養学専攻

藤田医科大学（平成三十年十月に藤田保健衛生大学から名称変更）七栗記念病院医療技術部食養課で活躍する卒業生をご紹介します。

■松本（倉田）真奈美

13期生

私は、六年前にNST専門療法士の資格を取得し、現在は回復期リハビリテーション病棟の専任として病棟業務を主に行っています。入院時から、患者さんに対しての計画と目標を立て、リハビリがスムーズに行えるように栄養面からのサポート、在宅へ戻られた時に自宅でもご自身

で栄養管理が行えるように栄養指導や家族向けに嚥下食の作り方指導などが主な仕事です。他職種の先生方と連携を図りながら、コミュニケーションを大切にしながら日々の仕事をすように心がけています。

■宇薄（川島）千佳

17期生

私は主に病棟担当としてNSTの業務に携わっています。昨年、NST専門療法士の資格を取得し、今年度からNSTの専任として多職種と連携し、栄養管理を行っています。私が担当している緩和ケア病棟では、食思不振があり、食事のみでは必要栄養量を満たすことが難しい方が多く見られます。そういった患者さんのベットサイドへ訪室し、個人



今年度より、高尾理沙(22期生)、山村美菜子(24期生)も入職しました。現在は、給食管理や厨房業務、栄養指導を中心に、一通りの業務がスムーズに行えるように頑張っています。

左から山村、宇薄、松本、高尾 ※敬称略

の状態、嗜好の聞き取りを行い、濃厚流動食、輸液などを主治医へ提案し、病態に応じた栄養管理を行っています。提案した食事内容が、患者さんに喜ばれて喫食量が増えるとうれしいと感じます。

お知らせ

管理栄養学専攻では来年度、同窓会を開催しようと考えています。様々なイベントを企画しますので、ふるってご参加いただけるようよろしくお願いいたします。



臨床検査学専攻

三重大学大学院
医学系研究科腫瘍病理学

松田 知世

一〇一五年度卒(HN11140)

臨床検査コースの一期生として卒業し、早や三年が経過しました。卒業と同時にがん研有明病院付設細胞検査士養成所に進学し、細胞検査士認定資格を取得後、三重大学に就職し現在に至ります。普段は細胞診を中心とした病理検査の業務を担当しています。さらに病院業務だけでなく、基礎研究に関する実験手技を教えてください。

伊勢赤十字病院
医療技術部 臨床検査課

中山 裕介

一〇一六年度卒(HN12143)



私は脳波、神経伝導速度、大脳誘発検査などの神経生理分野を担当しています。生理検査は患者さん自身を検査するところなので、患者さんと接する機会が多く、検査に対する質問や病気の相談なども受けることがあり、患者さんの近くで検査を行うことの難しさを

いたり、病理医の先生方と一緒に論文抄読会に参加したりしています。実験に関しては知らないことばかりで難しく、抄読会も英語の論文を読んでプレゼンするのは大変ですが、とても勉強になります。今後も日々勉強し、細胞検査士として業務に励むだけでなく、学会発表や論文作成にも取り組んでいきたいです。



実感しました。また私は血管造影チームの一員として、チーム医療に参加しています。このチームは循環器の医師、看護師、放射線技師と協力して心筋梗塞の治療を行っています。心電図や血圧などの変動がないかを観察し、容体に変化した際は、すぐに医師または看護師に伝え、早い措置を行うことができますので、責任は重大です。緊張感のある医療現場で、チームの一員として患者さんの命を救うことに大きなやりがいを感じています。

医療福祉学科

医療福祉学専攻同窓会から

のお知らせ

社会福祉を支える卒業生のみなさんへ

申請主義からアウトリーチへ

医療福祉学科 貴島 日出見 学科長

戦後七十年の年月をかけて、わが国の社会保障制度は充実・拡大を続けてきました。これからの社会は、支える側と支えられる側という捉え方でなく、お互いに支えあうという互助の考え方が強調される社会です。いわゆる地域包括ケア、共生社会の実現です。自助を基本とし、地域住民同士の互助、社会保険等による共助、やむを得ない場合に公助で支え合う仕組みとなります。

ところが、人口減少社会を迎え、地域格差が拡大する中、公助の幅が窮屈になりつつあります。自己決定の尊重は自助を強制しているかのようで、勝ち組にならなかつた者には自己責任が付きまといまふ。核家族化や無関心層の増加により地域社会のつながりは弱体化し、互助による

支え合いを難しくしていき、社会保険等による共助は、受益者負担が基本で未加入者は除外され、誰もが頼りにすることができないものではありませぬ。公助の仕組みは申請主義、選別主義を基盤としています。選別主義はステイグマを伴うため、公助による支援を申請しないという選択肢を優先する場合があります。あるいは環境的要因により公的な支援を知らなかつたり、過去の辛い体験から公助に反発や嫌悪感をもつていたりすることもあります。本来であれば公助による支援がふさわしいにも関わらず、支援が届いていない場合もあります。このように、制度あつてサービスマシの状態に陥る人々があります。

これからのソーシャルワーカー

まちづくりを支える卒業生



亀山市社会福祉協議会

待田 夏美さん

8期生(2015年卒業)

私は今、亀山市社会福祉協議会の地域福祉係で小地域ネットワーク活動事業や民生委員事務局、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)として働いています。地域の住民の皆さんや行政と連携し、見守り訪問活動や三世代交流会など地域特性に応じた福祉活動を展開していきけるようにコーディネートや活動支援、研修会等を行つています。

実際に地域の活動に定期的に訪問すると顔を覚えていただき、

「実は相談するか悩んでいるのだけれど」と悩みを聴かせていただけようになつてきました。全てを解決できているわけではありませぬが、「聴いてもらつてよかった」「ありがとう」と住民の皆さんの笑顔を見られることがやりがいになつています。

まだまだ未熟ですが、上司や同僚、地域の皆さんと協力・連携しながら住民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを行つていきます。

は、申請主義でサービスマシに簡単に繋がる人を対象とするのではなく、申請主義を越えたアウトリーチによつて、真にサービスマシの必要な人、サービスマシを求めている人を探し出し、多くの社会資源を検討して、本人の望

む暮らしと地域社会との調和を図つていかなければなりません。申請主義を越えたアウトリーチがこれからのソーシャルワーカーに求められています。

支部報告

鍼灸学科 同窓会からの お知らせ

去る平成三十年五月十九〜二十日（土・日）の二日間にわたり、鍼灸サイエンス学科一〜四年生全員を対象に三重県亀山市の石水溪研修施設にて宿泊研修を行いました。

本研修では、BBQなどを通して在校生同士の交流に加え、本学科卒業生をお招きし、鍼灸師のやりがいや就職活動のアドバイスなどをお話して頂く機会として実施しました。

今回ご講演頂いた卒業生の方々は、山形由紀先生（一期生・やぎぎた鍼灸室院長）、鈴木かおり先生（一期生・剛鍼灸治療院・レディース鍼灸さいとう）、石山良平先生（四期生・スリール鍼灸院）、小川新平先生（四期生・さくら整骨院）でした。

山形先生には、「鍼灸師としての社会における自己の役割」「本当に

鍼灸サイエンス学科 宿泊研修で卒業生が講演



やりたいことは何か、自分にしかできないことは何か」について講演され、鍼灸師としての将来のビジョンを描くきっかけになったばかりでなく、普段の座学の授業では見ることができない貴重なお話を聞くことができました。また、鈴木かおり先生は、「女性鍼灸師としての仕事のやりがい、そのメリットとデメリット」



について講演され、鍼灸治療の奥深さや楽しさ

について教えて頂きました。石山良平先生は市立病院、鍼灸接骨院、大学付属診療所、鍼灸院に勤めた経験があり、その現場の特徴のみならず、グループディスカッションを通じて、学生が目指す鍼灸師像を再認識させ、「目標を達成するためには何をすべきか」について講義をして頂きました。小川新平先生には、「スポーツトレーナーに必要な解剖学の必要性と臨床的应用について」、臨床現場での目標設定、問題発見、解決方法などについてご講演頂きました。

研修を終え、学生さんから「知らなかった鍼灸の仕事などを聞けて自分の中の就職に向けての選択肢を広げることが出来ました。」「これか



らどのような鍼灸師になりたいか、そのために今からどのように行動していかなければならないのかを具体的に考えることができました。」「僕たち学生にとって、身近な先輩方のお話を聞く事はとても良い刺激になり、また今後のモチベーションにも繋がりました。」といった充実した感想を聞くことができました。宿泊研修に関する事前準備や後片付けをはじめBBQでの交流や卒業生講演など、充実した二日間を過ごしました。



支部報告

薬学部 同窓会からの お知らせ

平成二十九年 活動報告

平成二十九年十月二十九日(日)に白子キャンパス六号館において、第四回目となる薬学部同窓会を開催致しました。平成二十九年は薬学部が設立されて十周年の節目の年を迎えたこともあり、生涯研修セミナーに加え、薬学部創立十周年記念講演会が開催され、一々四期生合わせて五十名程の同窓生に加え、四十五名の恩師の先生方にご参加頂き盛大な会となりました。生涯研修セミナーでは看護学部の葛原茂樹先生より『紀伊半島の神経風土病ALS/PDCから脳の病気を探る』という演題でこ

講演頂きました。十周年記念講演会では来賓の奥田真弘先生(三重県病院薬剤師会会長)よりご祝辞を賜り、卒業生代表として藤戸淳夫会長より一期生の苦難や入学時からの想い出などについてお話し頂き、記念講演では川西正祐先生(現副学長、初代薬学部長)より『薬学の教育と研究』というご演題でご講演頂きました。その後の懇親会では西井政彦先生(三重県薬剤師会会長)も参加され、ご祝辞を頂き、同窓生と恩師の先生方にとって至福なひとときとなりました。



第9回生涯研修セミナー(葛原先生)

第5回薬学部同窓会開催のお知らせ

- 日時** 平成30年12月9日(日)
13:00~(受付開始:12:30より)
- 内容** 生涯研修セミナー、総会、交流会、懇親会
- 会場** 鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス6号館
- 参加費** 3,000円(飲食費込。当日、受付にてお支払い下さい。)
- 申込方法** 右記、登録フォーム(QRコード)より申込。
もしくは、各学年幹事へ申込連絡して下さい。
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/b5d4145f354970>
- 問い合わせ先** 鈴鹿医療科学大学薬学部同窓会 運営委員会
Email: sums.pharmacy.obog@gmail.com

- 1期生幹事…雨皿千鶴代、河井 亜希、鍋谷 和
2期生幹事…浮氣 良太、近藤 美帆、島 成未
3期生幹事…伊藤 朱里、五藤 健児、近藤 健太
瀧下 裕
4期生幹事…各務 有里、白上 茜、鈴木 啓太
沖 活也、宮崎 翔平
会計…立松 洋平、内田 亮太
副会長…竜瀬 真衣
会長…藤戸 淳夫



第5回薬学部同窓会 登録フォーム▶



第4回薬学部同窓会懇親会集合写真

入学課からのお知らせ

大学院入試について

医療科学研究科医療科学専攻修士課程・博士後期課程 薬学研究科医療薬学専攻博士課程（4年制）

本学大学院には毎年20名ほど医療従事者の方が入学されています。勤務しながら就学できるよう、授業や研究指導の配慮を行っています。2018年4月より、公認心理師・臨床心理士の受験資格に対応した臨床心理学分野、2019年4月からは、看護学分野も新設します。

本学学部卒業生の学部成績優秀者には筆記試験を免除し、また、本学卒業生は入学金を免除しています。大学院で学び、皆様方のキャリアアップにつなげていただければと思います。

● 2019年度大学院入試日程（医療科学研究科・薬学研究科）

期別	出願期間	試験日	合格発表
1期	2018年9月10日(月) ～9月17日(月)	2018年9月29日(土) 【今年度は終了しました】	2018年10月12日(金)
2期	2019年2月8日(金) ～2月18日(月)	2019年3月2日(土) ※薬学研究科は3月4日(月)でも可	2019年3月9日(土)

※医療科学研究科は社会人特別選抜、東京サテライトコース（社会人診療放射線技師対象）、名古屋サテライトコース（社会人で上級の医療情報技術者を目指す方対象）入試があります。

※薬学研究科の社会人特別選抜入試はありません。薬剤師資格を取得している事が出願条件となります。

※詳細につきましては、本学ホームページ及び大学院募集要項をご覧ください。

学部入試について

おかげさまで本学は創立27年を迎えました。これまでに8,300名を超える卒業生が全国各地の医療機関・福祉施設等で活躍し、OB・OGによって結ばれたネットワークは後輩の就職活動の大きな味方になってくれています。

近年は、同窓生のご子弟が本学に入学される機会も増えてきました。医療・福祉分野への進学を希望するご家族、お知り合いの方がいらっしゃいましたら、医療現場で活躍する先輩として、鈴鹿医療科学大学をよく知る先輩として、本学をご推薦ください。

学部入試の詳細は本学ホームページ及び学生募集要項でご確認ください。大学案内・募集要項等のご請求は、ホームページ・メール・電話で受付けております（無料）。お気軽にお問い合わせください。

2019年4月 保健衛生学部理学療法学科を改組し、新たに「リハビリテーション学科」を開設します。

新設の作業療法学専攻では、チーム医療や地域包括ケアを担う作業療法士を養成します。

資料請求・お問い合わせ

鈴鹿医療科学大学 入学課
TEL：059-383-9591（直通）
H P：http://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/
E-mail：nyushi@suzuka-u.ac.jp

2019年
4月

リハビリテーション学科「作業療法学専攻」 鍼灸サイエンス学科「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」 大学院医療科学研究科医療科学専攻「看護学分野」 を新設します

鈴鹿医療科学大学は、二〇一九年四月に理学療法学科を改組し、リハビリテーション学科「理学療法学専攻」「作業療法学専攻」を新設します。作業療法学専攻では、高齢社会における「チーム医療」や「地域包括ケアシステム」や身体障がい分野、精神障がい分野、発達障がい分野の専門領域を学ぶことができ、病気の初期から生活期まで、人生のあらゆるステージで活躍できる次世代の作業療法士を育成します。

また、保健衛生学部鍼灸サイエンス学科に「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」と「鍼灸学専攻」の二つの専攻を開設し、新設の「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」では、スポーツと運動の専門知識を兼ね備えた鍼灸師の育成をめざします。一年次から三年次の授業でスポーツに関連する教養と技術を習得することで、日本トレーニング指導者協会（JATI）と全米エクササイズ&スポーツトレーナー協会（NESTA）の各々が認定するトレーニング指導者（JATI）とパーソナルフィットネストレーナー（NESTA）の受験資格が得られます。将来、鍼灸師とスポーツトレーナーに関する資格を合わせ持つことで、スポーツ選手や健康運動を実践している方へ、鍼灸治療とコンディショニング指導を行う道が開かれます。

同時に、大学院医療科学研究科医療科学専攻「看護学分野」（修士課程）を新設します。今年四月に新設された「公認心理師」「臨床心理士」養成に対応した「臨床心理学分野」に加え、科学的な思考力、実践力、教養力、指導力を養い、リーダーシップを発揮できる看護実践者や臨床教育者を育成します。

本学の医療・福祉の総合大学という特徴を生かし、チーム医療や多職種連携の実践教育から高度専門職まで幅広い学びが充実しています。

〈企画広報課〉

卒業生アンケートへのご協力をお願い

卒業生の皆様におかれましては益々ご活躍のことと存じます。

本学のさらなる発展を期して、現在、本学の教育全般を点検評価し、新しい教育体制と内容の充実を図りたいと考えて様々な取組を進めております。その一つとして、社会人としてご活躍中の卒業生の皆さまから、本学で受けた教育について現在どのように感じておられるのか、良かったところ、欠けている点など、ご意見やご感想をうかがい、本学の教育方針やそれを踏まえた取組を見直していきたいと考えております。

本学ホームページの「卒業生の方へ」の中にアンケートを用意しております。お手順をお掛けいたしますが、アンケートへの回答にご協力いただきますようお願いいたします。

回答結果につきましては目的以外には一切使用いたしませんので、忌憚のないご意見・ご感想をお寄せ下さい。ぜひともご協力いただきますようお願いいたします。

The screenshot shows the website of Suzuka University of Medical Science. The navigation bar includes '大学案内', '学部・大学院', '入試情報', '学生生活', '就職・キャリア', '地域・国際交流', and '研究・社会貢献'. Below this, there are links for '受験生の方へ', '在学生・保護者の方へ', '卒業生の方へ', and '企業・一般の方へ'. The '卒業生の方へ' link is highlighted with a red box. Below the navigation, there is a section titled '鈴鹿医療科学大学 > 卒業生の方へ'. Underneath, there is a link for '卒業生アンケート' which is also highlighted with a red box. A red arrow points from the '卒業生の方へ' link to the '卒業生アンケート' link.

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会会報の原稿を募集します

本会報は母校卒業後も学校・同窓生を結び、会員皆様に親しまれる会報誌として編集・発行されて参りました。今後も内容を充実させ同窓皆様の交流を支援する会報誌を目指して参りますので、広くご寄稿をお願い申し上げます。

ご寄稿を頂きました方にはささやかですがお礼をさせていただきます。

1. ご寄稿記事内容

- ①母校、同窓会、同期会に関わる思い出
- ②同窓生のお店（開業されているかたのお店紹介や、勤務先施設の紹介についてなど）
- ③学会、研究会、クラス会案内
- ④その他同窓会から募集するテーマ

2. 原稿

- ①のみ 300～600 字程度。②③④は 300 字程度。寄稿者本人写真及び関連写真やイラストをご提供願います。

3. 送付先と締め切り

同窓会事務局までメールまたは郵送してください。次号のご寄稿締め切りは、2019 年 5 月末日になります。（発行は 2019 年 10 月 1 日予定）

悪徳業者にご注意を

鈴鹿医療科学大学同窓会事務局からの住所調査と名乗り、電話で住所や勤務先などの個人情報を探る業者がいます。本会では電話での住所調査は行っておりません。ご注意ください。

学科支部設置について

本会では、理事会の議を経て、学科別および地域別に支部を結成することができます。2018 年現在、5 支部が結成されています。本会支部として活動される場合、支部で開催される卒業生交流支援活動に対して、規定により補助が行われます。支部活動報告は、同窓会会報他で行っていただきます。支部結成を希望される場合、同窓会事務局までご相談ください。

転居時はご連絡を

住所が正しく登録されていない方には、同窓会会報や各種ご案内がお届けできません。

住所・勤務先等を変更される場合、また、改姓改名された方は、同窓会事務局へご連絡ください。

同窓会名簿の頒布について

2005 年 4 月から個人情報保護法が完全施行されたことに伴い、本会では同窓会名簿を頒布しないこととさせていただいております。悪しからずご了承ください。

各種同窓会の開催やご友人に連絡を取りたい場合は、同窓会事務局へご連絡ください。ご本人からの許可がない限り、直接、情報を開示することはできませんが、同窓会事務局から先方にその旨をお伝えいたします。

鈴鹿医療科学大学ファミリー募集!

鈴鹿医療科学大学は、今年、創立 27 周年となりました。

その間、大勢の卒業生が巣立っていきました。中には、親子 2 世代が時を超えて、若き日を鈴鹿医療科学大学で過ごしている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

そこで、現在、鈴鹿医療科学大学に在学中のご子息、ご息女がおられる方は、ご本人とご子息・ご息女の氏名、学生番号、ホームカミングパーティへの参加・不参加（不参加の場合記念品送付先）を同窓会事務局までメール mail@sums-aa.com でお知らせください。（親・子で、学科は違ってかまいません）

大学の歴史とともに歩まれてきたご家族に、感謝の意を込めて記念品を贈呈し、ホームカミングパーティ・会報等においてご紹介させていただきたいと考えています。

お寄せいただいた情報は、同窓会親・子 2 世代事業以外には使用いたしません。

編集 後記

第一期生が卒業してから 23 年が経過し、この春卒業した第二十四期生を含め卒業生数は 8,000 名を超えました。同窓会活動も徐々に活発化しており、各学部・学科から様々な活動を耳にするようになりました。これからも卒業生と母校の架け橋としての役割を果たせるよう活動を進めたいと思います。今後とも同窓会活動へのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。